

事業所名

さずな緑町（未就学から高校生 対象）

支援プログラム

作成日

令和6 年

11 月

1 日

法人（事業所）理念		児童との心のきずなを深めたい・親御さん（保護者さん）とのきずなを深めたい・職員さんとのきずなを深めたい ※この3つの柱が願いであり名前の由来であります。			
支援方針		【午前/不登校支援】一人ひとりが安心して過ごせる居場所作りをします。子どもがどのような状態かをよく見極め理解し、その状況に合わせた支援を行います。 【午後】未就学から高校生までと一緒に過ごし、その縦の関りから子ども達の社会性を育みます。日常生活動作・運動・制作・マナー・調理・体験活動・余暇活動・コミュニケーション・遊び等を楽しみながら様々なスキルを身に付けられるよう支援を行います。※自分の居場所を見つけ、才能を見出す場でもあります。			
営業時間		9 時 0 分から	18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	①人との適切な距離感 →社会的距離（パーソナルエリア）の取り方や、自分本位ではなく異性相手の気持ちを考えられるよう支援する。 ②挨拶や規則正しい習慣 →・学校生活において時間を守ることが求められるため、事業所でもタイムスケジュールに沿った活動を支援する。 ・不登校児童の生活リズムを整える為、午前からの活動を支援する。 ③清潔保持やマナー →身だしなみ（髪の毛や服装等）や一般的なマナーや言葉使い等を支援する。			
	運動・感覚	①物作り →物づくりを通し様々な素材に触れる事で、基礎的な手先の器用さや創造力を養う事を目指し、失敗を恐れずチャレンジする心を育む。 ②余暇活動での体験 →余暇の拡充でスポーツ体験等の運動を行う。 ③姿勢保持 →・諸活動での椅子に座る姿勢や作業時の姿勢保持の助言や支援を行う。 ・体幹トレーニンググッズを用いた遊びを通し、体幹へのアプローチを行う。			
	認知・行動	①視覚的なアプローチ →諸活動の内容やスケジュールを視覚的に提示し、時間と流れを理解できるよう支援を行う。 ②目標の設定と振り返り →自分の目標を設定し帰りの会にて振り返る時間を設ける（認知と行動が一致していたかの確認作業） ③自己選択 →個別活動や小集団活動において選択肢を提供し、自主性・選択力を育む。			
	言語 コミュニケーション	①意思表示の確認 →・言葉の表出が難しくても、ジェスチャー等で環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 ②思春期の意思疎通 →・障がい特性と思春期が折り重なり自分を表現する方法に迷う児童もいるが、支援者はその背景を理解して支援する。 ・コミュニケーションゲームやグループ活動を通し【伝える力、聞く力、気持ちを読み取る力】を育む。			
	人間関係 社会性	①心の居場所 →【自分らしく居られる場所】【心の拠り所】になるよう暖かな支援を行う。 ②情緒の安定 →・不安な気持ちを受け止め寄り添い、不安を取り除くことができるよう支援する。 ・周囲の状況が気になりやすい時に、落ち着ける場所に移動する等、環境に配慮し支援する。 ③安心感・信頼感 →困った時に周りを頼ることが出来るよう、表情を見て声掛けをし、相談があれば親身に話を聞き「心の基地」の役割を果たせるよう支援する。			
家族支援	療育に対して家庭等での困り感を傾聴し相談援助を行います。又、希望されます方には臨床心理士よりカウンセリングの支援も行っております。年に1回は個人懇談をし療育に対し家庭と事業所の情報共有を図っております。	移行支援	次のライフステージ（新たな学校生活や寄宿舎生活を見据えた）への移行支援を行っています。また、小中高入学や就職において必要な情報共有や（引継ぎ等）連携も行います。		
地域支援・地域連携	地域連携では、市内の高校生ときずなに通所する児童が同じ食のテーマの下に「地域交流会」を行っています。又、自立支援協議会（こども部会）に参加し地域の連携や地域課題（社会資源の少なさ等）にも挑戦しております。	職員の質の向上	事業所内研修では「療育勉強」や各委員会に分かれ知識の習得に努めております（療育向上委員会・スキルアップ委員会・感染委員会）。又、可能な限り積極的に外部の研修にも参加しております。		
主な行事等	主な行事は、保護者や利用児童の兄弟も参加できる「日帰りキャンプ」は毎年行っております。長期休みには、放課後活動ではできないような体験や見学を行っています。卒後を見据えた活動の中には、企業様にご協力をいただき「職業体験」を行っています。又、江別の花火大会に参加してステージ上でよさこいを発表して社会の一員である実感を持てるような取り組みも行っております。その他、四季折々の活動や毎日異なるカリキュラムの活動を通して、卒後に役立てられるような活動をしております。				